

丹波縄文の森塾 第10日目活動報告 (令和6年1月13日)



2024年1月13日(土) 曇りのち小雨
新しい年を迎えてのはじめての丹波縄文の森塾。

まず、杉本自然体験活動サポーターの指導で、シイタケの原木の玉切りに挑戦しました。12月に切り倒したクヌギを1mの長さにノコギリを使って切りました。直径15cmを超える太い木を切るのは大変でしたが、みんな頑張りました。2月の縄文の森塾で、シイタケ菌の駒うちを行います。

続いて、里山の倉庫前でバケツに入れて栽培していた「吹田くわい」の収穫をしました。



次に、西垣・石川両サポーターの指導で、(株)大地農園(丹波市)から提供いただいたしなやかな色合いのプリザーブド・ローズやドライフラワーを使って、フラワーアレンジメントを楽しみました。



昼食は、ちょうど「春の七草」の時期で、サポーターに料理してもらった「七草風おかゆうどん」をいただきました。おかゆには、すすしろ(大根)やにんじん、白菜などが入り、お正月料理でちょっと疲れた胃腸にやさしかったです。

午後からは、山崎春人さんの指導で「ぐにゃぐにゃ凧」を作りました。ポリ袋を六角形に切って、竹ひごで骨を作り、タコ糸を結びました。凧の本体の部分には、みんなそれぞれ好きな絵や文字を描きました。



さっそく、出来上がった凧で凧揚げを体験しました。小雨が降る中、風速5mほどの北風が吹いており、20m近く舞上がった凧は、糸が切れそうでしたが、塾生は「揚がった、揚がった」と歓声をあげていました。

最後に凧と一緒に、正面玄関に飾られているジャンボ門松の前で記念写真を撮りました。

